

JSPS Bridge Award

出張報告書

1. 所属・氏名

シンシナティ大学・佐々木敦朗

2. 出張期間

令和元年9月17日 ～ 令和元年10月2日

3. 日本滞在中の主な活動とその成果

1. 第一三共品川研究所での講演（9月19日）

第一三共株式会社オンコロジー第二研究所の阿部 有生所長にお世話頂き、「GTP エネルギー代謝機構と細胞増殖と疾患」に関する講演および研究者のキャリアに関する講演を行った。



2. 東京医科歯科大学で講演および研究打ち合わせ（9月20日、21日）

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 病態生理化学分野の佐々木雄彦教授にお世話頂き、「GTP エネルギー代謝機構と細胞機能と疾患」に関する講演を行った。その後、共同研究に関するディスカッションを行った。



3. 理系キャリアを目指す方々へメッセージ：「リケラボ」とのインタビュー（9月21日）

理系の理想の働き方を考える研究所「リケラボ」からご機会を頂き、対談形式のインタビューを行った。理系キャリアをめざす若い人たちにキャリアを考える上で重要なことを体験談を交えお話しした。写真撮影を含め2時間、神保町にある学士会館の会議室で行った。記事は、リケラボのサイトへ掲載予定である。

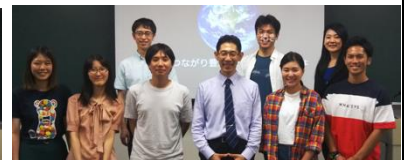
4. 東京農業大学で講演および研究打ち合わせ（9月24日）

東京農業大学の岩槻健准教授にお世話頂き、「GTP エネルギー代謝と細胞機能と疾患」に関する講演と、学生の方々へのアドバイスを行った。多くの学部生と大学院生にご参加頂き、発表後は活発な質疑応答を30分行った。その後、岩槻博士のグループと味覚細胞とGTP代謝についての共同研究模索のディスカッションを行った。



5. 名古屋大学で研究講演、留学セミナー、研究打ち合わせ（9月25日）

名古屋大学理学部の清光智美講師にお世話頂き、「GTP エネルギー代謝と細胞機能と疾患」に関する講演と、留学に関する2つのセッションを行った。留学セッションでは、海外留学のメリットおよび潜在的デメリット、海外生活における大事な考え方、英語でのプレゼンテーションのコツなどについて、留学に興味のある学生の方々とアットホームなディスカッションを行った。その後、清光博士と進藤博士と共同研究模索のディスカッションを行った。



6. 基礎生物学研究所にて講演、留学セミナー、研究打ち合わせ（9月26日）

基礎生物学研究所の青木一洋教授にお世話頂き、「GTP エネルギー代謝と細胞機能と疾患」に関する講演と、留学に関する2つのセッションを行った。留学に興味のある学生の方々とアットホームなディスカッションを行い、海外留学のメリット、英語プレゼンテーションのコツ、成功への考え方についてお話しした。その後、青木教授とラボメンバーと共同研究模索のディスカッションを行った。



7. 東海大学医学部にて講演、留学セミナー、研究打ち合わせ（9月27日）

東海大学医学部の中川草講師にお世話頂き、ランチョンセッションとして留学セミナーを行った。30名を超える多数の方々にご参加頂き、留学経験者の先生方からの様々な経験を伺いつつ、双方向の非常に活発なセッションとなった。その後、「GTP エネルギー代謝と細胞機能と疾患」に関する講演を行い、中川博士と進行中の共同研究そして留学への啓蒙活動について3時間におわたるディスカッションを行った。



8. 癌学会シンポジウムでの座長、講演、懇親会（9月28日）

癌学会で、初めてとなる留学へのシンポジウムを、UJA、AMED の協賛のもと行った。座長として会の進行を担当し、また「海外PI へのすゝめ」としたトークで、海外PI（ラボ主催者）になるための行程や、あまり知られていない大事な要素についてお話しした。本セッションは、会頭の石川冬樹教授が目玉の一つとし記者会見でご紹介されたものである。学会最終日の最終セッションにも関わらず、会場は立ち見の方がでるほど大勢の方の参加を頂いた。その後、懇親会では、ざっくばらんに、相談や質問にお答えした。



9. 海外留学の現状およびUJA 活動についてのインタビュー（9月28日）

海外留学の現状およびUJA 活動について、海外日本人研究者ネットワークの世話人でもあり、癌学会でのシンポジウムをともに運営した金沢大・赤木紀之准教授と AHFSP サイエнтиフィックオフィサー

/AMED プログラムオフィサーの足立剛也博士と、日本各地に支社をもつ大手新聞社のサイエンス記者の方とインタビューを行った。留学の知られざる大事な意義について、とくに時間をとりお伝えした。留学の現状、そして留学の重要性を訴える記事として掲載される予定である。

10. 第5回 GTP ワークショップでの発表および共同研究打ち合わせ（9月29日、30日）

京都にて開催された、第5回 GTP ワークショップに終日参加した。GTP 代謝研究の未発表データについて、ゴードン会議と同じ方式で非公開に行い、様々な分野の研究者が集まり、活発にディスカッションが行われた。翌日28日午前中は、進行中の共同研究について、詳細な打ち合わせを行った。

11. 金沢大学がん進展制御研究所にて講演、研究打ち合わせ（9月30日、10月1日）

金沢大学がん進展制御研究所の所長・平尾敦教授にお世話頂き、「GTP エネルギー代謝と細胞機能と疾患」に関する講演を行った。翌日（27日）は、ナノ研究所の高橋康弘准教授と周縁殊特任助教、後藤典子教授のグループ、そして大黒多喜子教授と共同研究について、個々綿密に打ち合わせを行った。大変充実した訪問となった。

12. 順天堂大学にて講演、研究打ち合わせ（10月1日）

本出張の最終セッションとして、金沢大での午前中の打ち合わせ後、東京へ移動し、順天堂大学大学・生理学第二講座の小松雅明教授にお世話頂き、GTP エネルギー代謝と細胞機能と疾患」に関する講演を行った。質疑応答が非常に活発で、深い議論ができた。セミナー後は、小松教授のグループと、共同研究模索へのブレインストームを行った。



以上、おそらく500名を超える方と、非常に近い距離感での講演そしてディスカッションを行えたことが、大変嬉しく印象に残っている。当初の出張計画では予定していなかった、2つのメディアとの思わぬ取材もあった。留学に興味を持ちつつも、幾つかの壁を考えている研究者の方々にとり、少しでもその壁を取り除くお手伝いとなっていれば大変幸甚である。研究者として豊かに成長しキャリアを積んでいくため、研究以外にも大事な点があると私は考えている。そうした通常表にでてこないことについて、お伝えしていく大事さを感じた出張でもあった。いろいろな形で波及効果がでて、若手の方々の未来の可能性を広げ皆さまがより豊かに成長され、ご活躍される未来へ繋がることを、心から祈念するとともに、楽しみにしている。